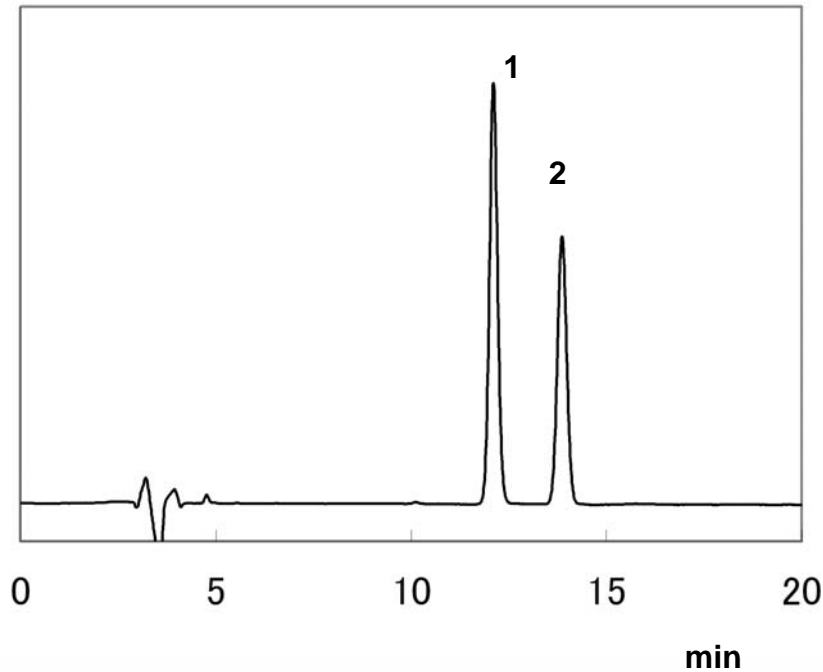




アロエの成分定量法:システム適合性

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-80Ts 5 μ m
(6.0ml.D. x 15cmL)

Column temp.: 30 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O : CH₃CN : AcOH
= 74:26:1

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (300 nm)

Injection vol.: 5 μ L

Concentration: 50 μ g/mL
(Barbaloin)

Samples:

1: Barbaloin

2: Ethenzamide

$R_s=4.2$



アロエ

—第十六改正 日本薬局方より—

試験条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 360 nm)

カラム: 内径 6 mm 、長さ 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 30°C 付近の一定温度

移動相: 水/アセトニトリル/酢酸(100) 混液 (74:26:1)

流量: バルバロインの保持時間が約 12 分になるように調整する。



アロエ

—第十六改正 日本薬局方より—

システム適合性

システムの性能: 定量用バルバロイン 10 mg 及びシュウ酸二水和物 40 mg をメタノールに溶かし、100 mL とする。この液 5 mL を量り、エテンザミドのメタノール溶液 (1→2000) 1 mL を加えた後、メタノールを加えて 10 mL とする。この液 5 μ L につき、上記の条件で操作するとき、バルバロイン、エテンザミドの順に溶出し、その分離度は 2.0 以上である。ただし、測定波長は 300 nm とする。